

戦争法廃止へ国会前集会

9/25
五曜

ここから始まる



「戦争法は絶対廃止」と訴をあげる集会参加者たち。スローモーション撮影は警察幹部ら。24日、国会正門前

野党の代表が参加 志位委員長がいさつ

戦争法廃止を迫る大集会在24日夜、国会正門前で開かれました。雨のなか、5000人(主催者発表)が参加。「戦争法を廃止にするため、これからはたたかい抜く」との訴えに、大きな拍手が沸き起こり、「戦争法は絶対廃止」「廃止するまで頑張ろう」とのコールが響きました。

◆関連団体

主催は「総がり行動実行委員会」。この間、毎週木曜日に国会前行動を実施してきました。今後は、毎月19日に国会前で行動を続け、戦争法廃止を求める署名の準備を進めていることを明らかにしました。

集会では、「ここからが始まり」と書かれたうちわをもった女性の姿も。国会議員、学者、学生、弁護士も駆けつけました。

立憲デモクラシーの会の山口二郎さん(法政大学教

授)は「いまや『立憲』が実現するかどうかは世論と野党、国民結集の理念となった。行動を続け、権力者に思い知らせよう」と語りました。

日本共産党の志位和夫委員長、民主党の枝野幸男幹事長、生活の党の志位副代表、社民党の吉田忠智党首がいさつし、戦争法の廃止を訴えました。

志位委員長は、戦争法を廃止する国民連合政府の提案を詳しく紹介。「これが実現するかどうかは世論と運動にかかっています。どうか後押ししてください。私たちも頑張ります」と呼びかけました(2面)。

戦争法廃止求める新署名

日本共産党は、戦争法の存立を土台から覆す法律(安保法制)の廃止を求め、一刻たりとも放置する衆・参両院議長あての新しい請願署名を作成しました。戦争法は違憲立法だと批判。立憲主義、民主主義、法の支配というわが国

郎さん(32)は「戦争法をず、しかし確実に安倍政権廃止する運動は絶対にはげをぶっ倒します」と話しまむことはない。無理はせした。

できます。署名用紙(2面